

★四日市南高校 箏曲部★

第50回全国高等学校総合文化祭日本音楽部門 優秀賞・文化庁長官賞を受賞！！

7月30日・31日に開催された文化部の全国大会、「第50回全国高等学校総合文化祭(あきた総文2026)」の日本音楽部門に箏曲部が出場。沢井忠夫作曲の「砦三章」を演奏し、ベスト4となる優秀賞・文化庁長官賞を受賞しました！

一箏：小西谷咲良（2年）・大井このか（2年）・吉田園代（2年）・川口紗季（1年）

佐々木紗良（1年）・宮川優菜（1年）・山木瑞穂（1年）

二箏：森田安珠希（2年）・南条美羽（3年）・篠原漣（2年）・寺社花音（1年）・甲斐明日香（1年）

十七絃：玉井桃果（3年）・河北祐衣（2年）・鈴木杏奈（2年）・駒田悠真（1年）

部員全員が高校入学後から箏を始め、外部講師の先生のご指導のもと、日々熱心に練習に励んでいます。また、保護者の皆様をはじめ、多くの方々の温かい支援に支えられながら活動を続けています。全総文のリハーサルでは、全国から集まった高校生の素晴らしい演奏に感動するとともに、自分たちの演奏に不安を感じる場面もありました。しかし、本番では、これまで積み重ねてきた練習を信じ、部員一同が心を一つにして、四日市南高校箏曲部ならではの音色を全国の舞台に届けようという思いで演奏しました。

このたび、このような賞をいただくことができ、部員・顧問一同、大変嬉しく思うとともに、これまで支えてくださった皆様に心より感謝申し上げます。

これからも感謝の気持ちを忘れず、一人でも多くの方に四日市南高校の音色を届けられるよう、部員一同努力を重ねてまいります。今後とも温かいご声援をよろしくお願いいたします。

